

# 道路環境影響評価の技術手法



## 総目次

### (その1) 土木研究所資料 第3742号

1. 標準項目及び本資料で取り扱う標準外項目	1
2. 大気質	3
2.1 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	3
2.2 自動車の走行に係る一酸化炭素及び二酸化硫黄（標準外項目）	71
2.3 建設機械の稼働に係る粉じん等	83
2.4 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る粉じん等	113
2.5 建設機械の稼働に係る二酸化窒素 及び浮遊粒子状物質（標準外項目）	133
2.6 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質（標準外項目）	161
3. 強風による風害（標準外項目）	177
3.1 換気塔等の大規模施設の設置に係る 強風による風害（標準外項目）	177
謝辞	193

### (その2) <平成16年度改定版>

### 国土技術政策総合研究所資料 第153号

4. 騒音	1
4.1 自動車の走行に係る騒音	1
4.2 建設機械の稼働に係る騒音	35
4.3 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音	67
5. 低周波音（標準外項目）	83
5.1 自動車の走行に係る低周波音（標準外項目）	83
6. 振動	95
6.1 自動車の走行に係る振動	95
6.2 建設機械の稼働に係る振動	121
6.3 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動	145
謝辞	159
補足資料1 ASJ Model 1998	163
補足資料2 ASJ Model 1998の修正・補足事項	207
補足資料3 平成15年度改定の概要	213
補足資料4 「4.2 建設機械の稼働に係る騒音」の見え消し版	217
補足資料5 ASJ CN-Model 2002	257
補足資料6 平成16年度改定の概要	279
補足資料7 「4.1 自動車の走行に係る騒音」等の新旧対比版	281
補足資料8 ASJ RTN-Model 2003	331
正誤表(土木研究所資料 第3742号～第3745号)	381

(その3) 土木研究所資料 第3744号

7. 水質	1
7.1 休憩所の供用に係る水の濁り及び水の汚れ	1
7.2 休憩所の供用に係る水の富栄養化(標準外項目)	19
7.3 水底の掘削等に係る水の濁り(標準外項目)	27
8. 底質(標準外項目)	41
8.1 汚染底質の掘削等に係る底質(標準外項目)	41
9. 地形及び地質	51
9.1 道路(地表式又は堀割式、嵩上げ式)の存在に係る地形及び地質	51
9.2 工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置に係る地形及び地質	85
10. 地盤(標準外項目)	93
10.1 掘割構造物、トンネル構造物の設置に係る地盤(標準外項目)	93
10.2 掘削工事、トンネル工事の実施に係る地盤(標準外項目)	113
11. 土壌(標準外項目)	123
11.1 汚染土壌の掘削等に係る土壌(標準外項目)	123
12. 日照障害	139
12.1 道路(嵩上式)の存在に係る日照障害	139
謝辞	161

(その4) 土木研究所資料 第3745号

13. 動物、植物、生態系	1
13.1 道路(地表式又は堀割式、嵩上げ式)の存在に係る 「動物」、「植物」、「生態系」	1
13.2 工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置に係る 「動物」、「植物」、「生態系」	73
14. 景観	99
14.1 道路(地表式又は堀割式、嵩上げ式)の存在に係る景観	99
14.2 工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置に係る 景観(標準外項目)	127
15. 人と自然との触れ合いの活動の場	137
15.1 道路(地表式又は堀割式、嵩上げ式)の存在に係る 人と自然との触れ合いの活動の場	137
15.2 工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置に係る 人と自然との触れ合いの活動の場(標準外項目)	161
16. 廃棄物等	171
16.1 切土工等又は既存の工作物の除去に係る廃棄物等	171
謝辞	189

# 道路環境影響評価の技術手法(その2)

## <平成16年度改定版>

### 目次

4. 騒音	1
4.1 自動車の走行に係る騒音	1
4.1.1 事業特性の把握	3
4.1.2 地域特性の把握	4
4.1.3 項目の選定	7
4.1.4 調査・予測区間の設定	8
4.1.5 調査及び予測の手法の選定	9
4.1.6 調査の手法	10
4.1.7 予測の手法	15
4.1.8 環境保全措置の検討	23
4.1.9 評価の手法	30
4.2 建設機械の稼働に係る騒音	35
4.2.1 事業特性の把握	37
4.2.2 地域特性の把握	39
4.2.3 項目の選定	42
4.2.4 調査及び予測の手法の選定	43
4.2.5 調査の手法	44
4.2.6 予測の手法	46
4.2.7 環境保全措置の検討	61
4.2.8 評価の手法	64
4.3 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音	67
4.3.1 事業特性の把握	69
4.3.2 地域特性の把握	70
4.3.3 項目の選定	73
4.3.4 調査及び予測の手法の選定	74
4.3.5 調査の手法	75
4.3.6 予測の手法	77
4.3.7 環境保全措置の検討	80
4.3.8 評価の手法	82
5. 低周波音(標準外項目)	83
5.1 自動車の走行に係る低周波音(標準外項目)	83
5.1.1 事業特性の把握	84
5.1.2 地域特性の把握	85
5.1.3 項目の追加	86
5.1.4 調査の手法	87

5.1.5	予測の手法	88
5.1.6	環境保全措置の検討	91
5.1.7	評価の手法	93
6.	振動	95
6.1	自動車の走行に係る振動	95
6.1.1	事業特性の把握	97
6.1.2	地域特性の把握	98
6.1.3	項目の選定	101
6.1.4	調査及び予測の手法の選定	102
6.1.5	調査の手法	103
6.1.6	予測の手法	106
6.1.7	環境保全措置の検討	116
6.1.8	評価の手法	118
6.2	建設機械の稼働に係る振動	121
6.2.1	事業特性の把握	123
6.2.2	地域特性の把握	125
6.2.3	項目の選定	128
6.2.4	調査及び予測の手法の選定	129
6.2.5	調査の手法	130
6.2.6	予測の手法	132
6.2.7	環境保全措置の検討	140
6.2.8	評価の手法	142
6.3	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動	145
6.3.1	事業特性の把握	147
6.3.2	地域特性の把握	148
6.3.3	項目の選定	149
6.3.4	調査及び予測の手法の選定	150
6.3.5	調査の手法	151
6.3.6	予測の手法	153
6.3.7	環境保全措置の検討	156
6.3.8	評価の手法	158
	謝辞	159
補足資料1	ASJ Model 1998	163
補足資料2	ASJ Model 1998 の修正・補足事項	207
補足資料3	平成15年度改定の概要	213
補足資料4	「4.2 建設機械の稼働に係る騒音」の見え消し版	217
補足資料5	ASJ CN-Model 2002	257
補足資料6	平成16年度改定の概要	279
補足資料7	「4.1 自動車の走行に係る騒音」等の新旧対比版	281
補足資料8	ASJ RTN-Model 2003	331
	正誤表(土木研究所資料 第3742号～第3745号)	381